



コミュニティ・スクールの目的や地域協育ネットのねらい等が十分理解され、いろいろな取組も充実し、成果も上がっている。しかし、関わる人材の固定化とさらなる確保が課題である。また、子どもたちの地域行事や地域ボランティアへの参加は年々増加しているが、地域のために何が出来るかなど地域のことを自分なりに考えることが課題として浮かび上がっている。そのような課題を皆が理解して、知恵を出して工夫してほしい。

光市の推進構想

光市が進めるコミュニティ・スクール

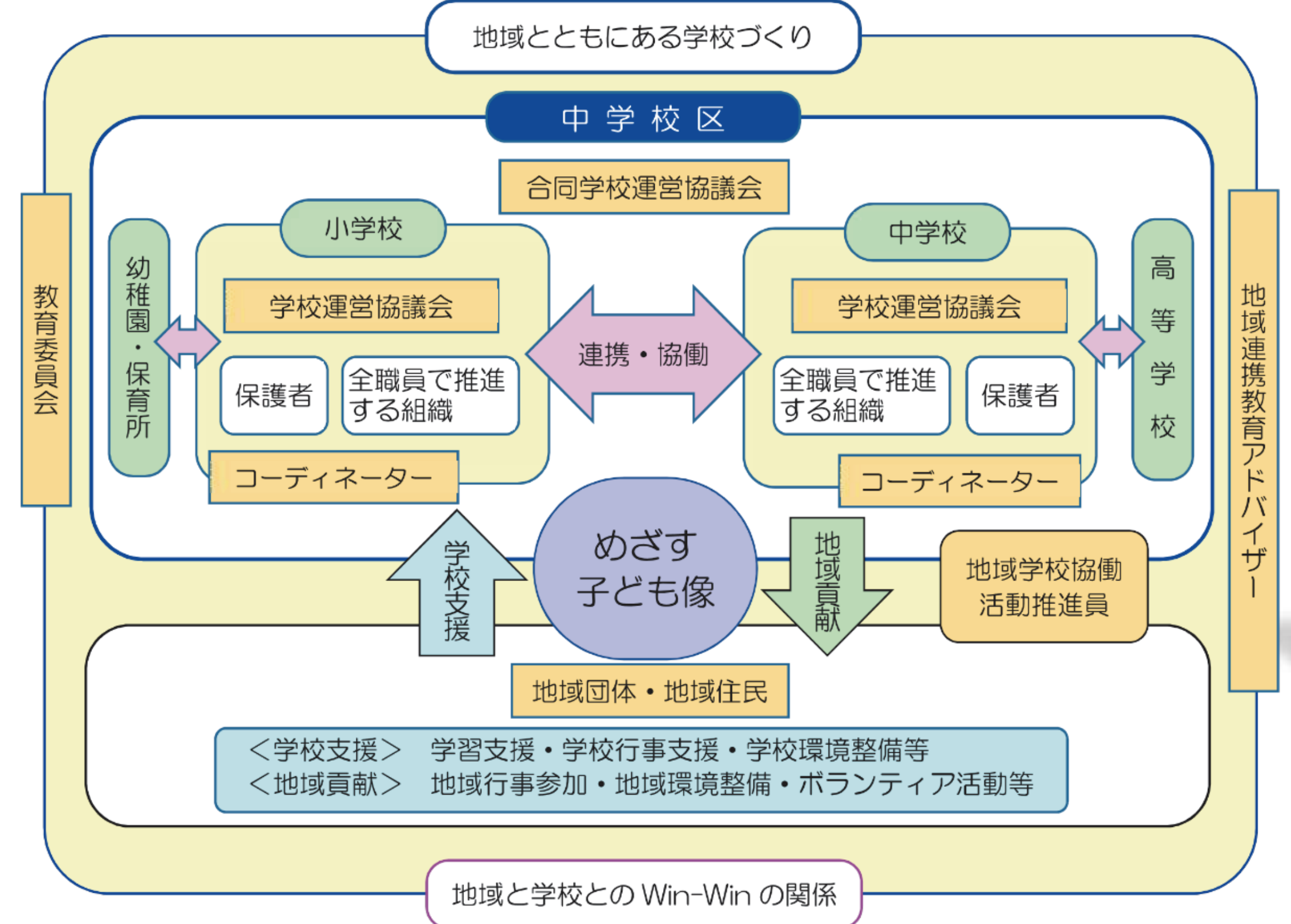
コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置した学校です。学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」『子どもとかわり、見守り、支え、応援していく学校づくり』のシステムです。

本市では、その取組の一層の充実に向け、各学校のコミュニティ・スクールを核として地域協育ネットのしくみを活用した「光市次世代型コミュニティ・スクール」を推進します。

中学校校区で、「めざす子ども像」を共有し、学校も家庭も地域も、それぞれが子どもと真剣に向き合い子どものことを真剣に考える『共に育てる+共に育つ』の視点のもと、お互いに自らできることについて知恵を出し合う活動を通じて、学び合う組織と学びでつながるコミュニティを目指します。

- ① 学校運営の質の向上 (学校運営)
- ② 地域の子どもはみんな育てると意識の醸成 (学校支援)
- ③ 故郷を大切に育む気持ちの育成とコミュニティの活性化 (地域貢献)

光市におけるコミュニティ・スクールの基本構想・・・「次世代型コミュニティ・スクール」=中学校区を単位として推進するCS



- #### 光市におけるコミュニティ・スクールの水準の維持・向上
- ◎ 地域・学校の特性を生かしたコミュニティ・スクールの推進
各地域の実情に応じた地域連携や各学校の状況に応じた組織整備等、地域・学校の特性を生かした、相互に Win-Win の関係を構築できる推進体制の充実。学校・地域が協働する地域協育ネットの推進。
 - ◎ 光市コミュニティ・スクール研究協議会
コーディネーター・教職員を対象とした情報交換、研究協議等を通して各校の取組の質を高めるとともに、光市としての方向性を確認。

- #### 取組の成果
- 学校がコミュニティ・スクールであることを知っている割合が、児童・生徒、保護者、地域、いずれも高い訳…
- コミュニティ・スクールと小中連携教育を一体的に取り組む「連携・協働」を重視した学校づくりを、学校、家庭、地域、それぞれが当事者意識をもち長年積み重ねてきたこと
 - 学校教職員の意識が高いこと（管理職を中心に全教職員が参画する組織づくり 光市教育委員会からの働きかけ）
 - 18歳までを見通した「学び」と「育ち」をつなぐ幼保、小中、高等学校連携教育を推進してきたこと

- #### 光市の課題
- ① コミュニティ・スクールに関わる人材が固定化し、広がらないこと。
 - ② 地域行事や地域ボランティアへの参加は増加しているが、それに比べて、地域のために何が出来るかを考えることの肯定的回答がやや低いこと。

光市の重点取組事項

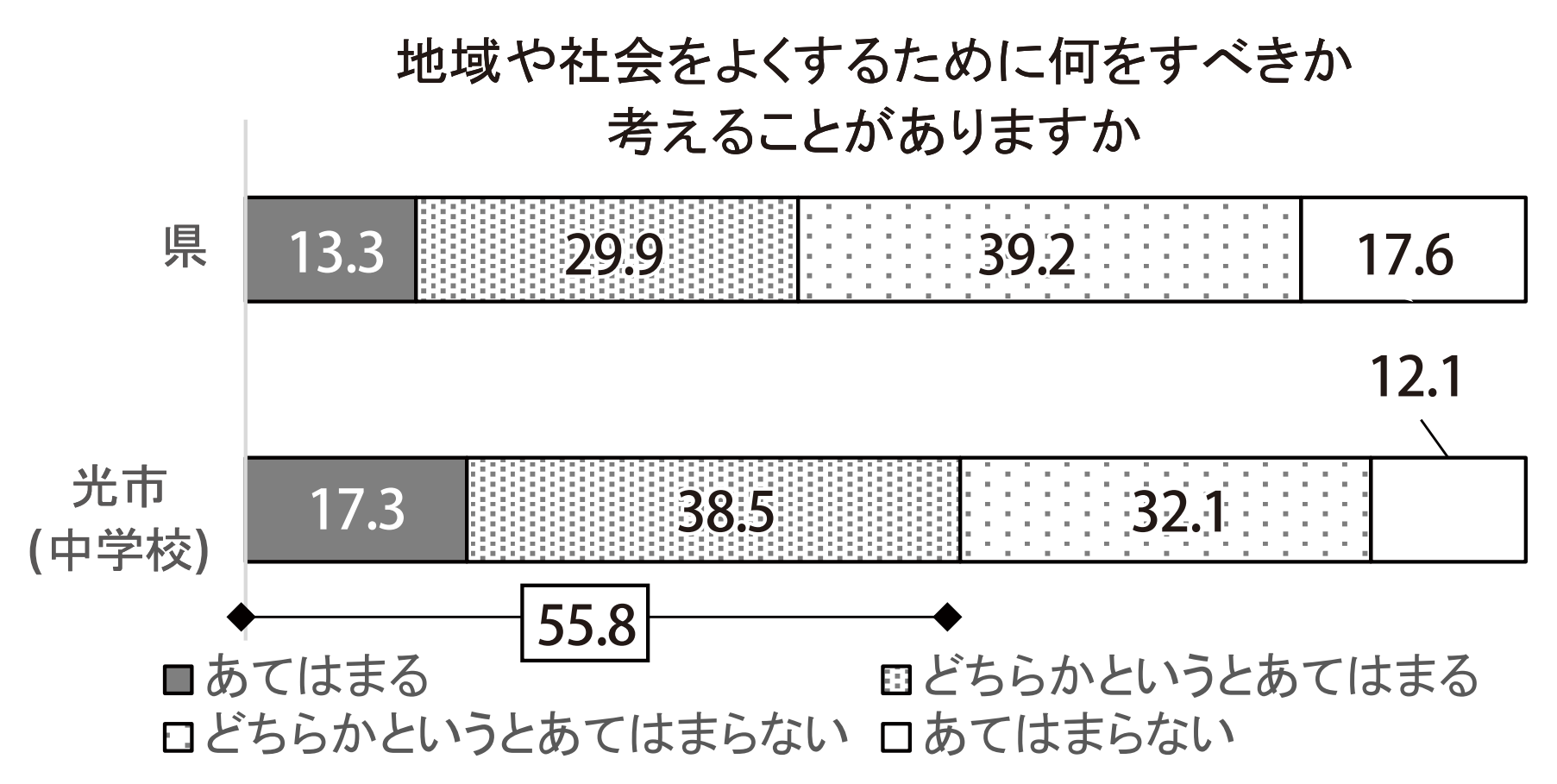
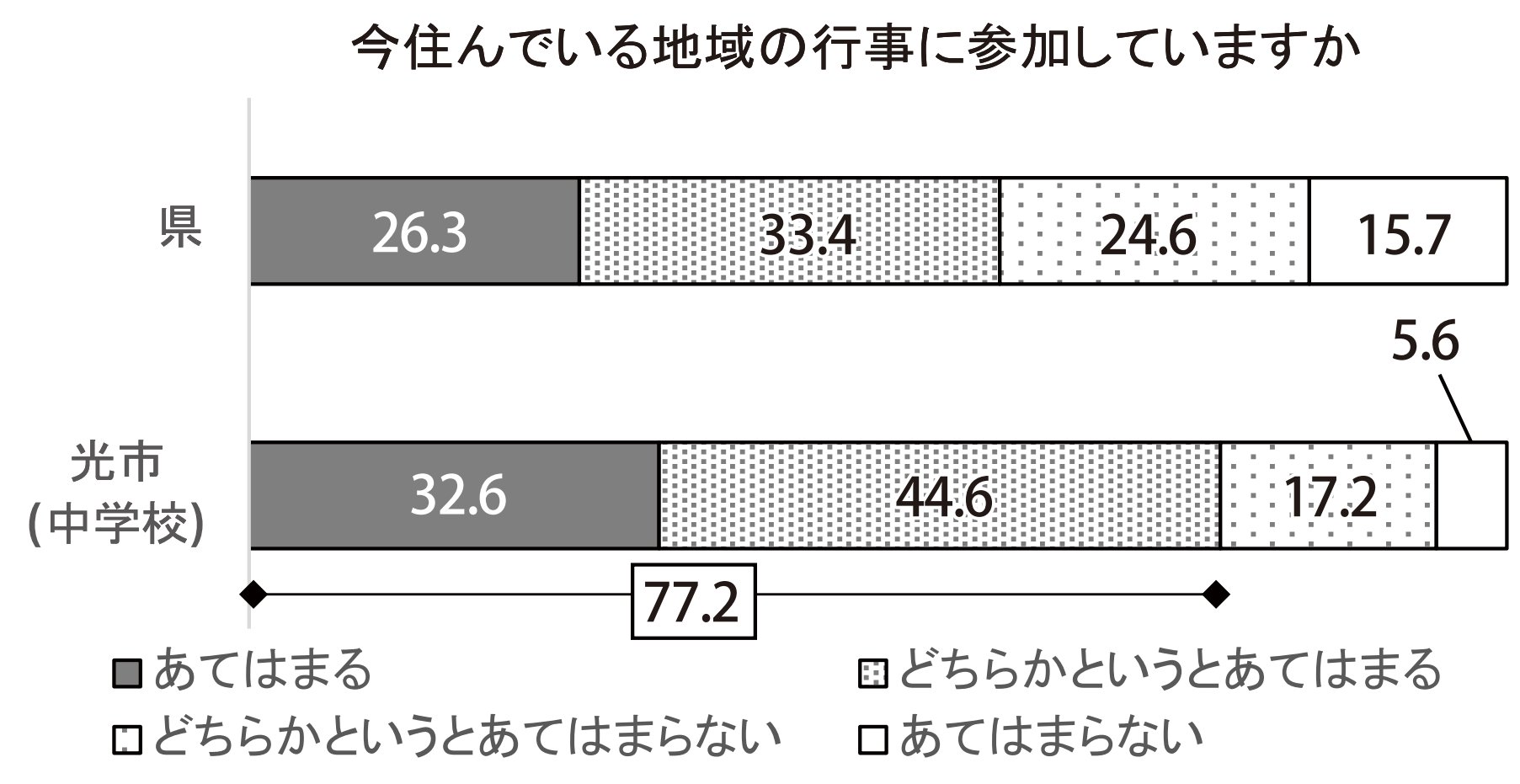
～コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進～

- 幅広い地域人材を確保する取組の充実
- 子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組の工夫

↓

地域に見守られ、貢献することで、
自己肯定感の高まりから主体性の育成へ

- #### 課題の共有と取組の協議
- CS 担当教員、地域学校協働活動推進員、校外コーディネーター対象の「光市CS 研究協議会」で中学校区ごとに実施
- #### 今年度の取組を総括
- 2月の同研究協議会で、今年度の取組の総括を中学校区ごとに報告
- #### 成果検証
- 各校の学校評価アンケート
来年度の全国学力学習状況調査質問紙との比較



第1回光市CS研究協議会

光市立島田小学校

幅広い地域人材を確保する取組



「三世代交流ふれあいのつどい」では、こま回し、絵手紙、指編み等、昔遊びやものづくりを、年代を問わず約80名の地域の方々から教えていただき、児童、保護者と一っしょに楽しんでいます。

光市立浅江小学校

幅広い地域人材を確保する取組



校外及び保護者コーディネーターの皆さんが、地域や保護者の方々に参加を呼びかけ、宿泊学習での野外炊事や焼板細工など一っしょに活動していただいています。

光市立東荷小学校

幅広い地域人材を確保する取組



地域の方は「お客様」ではなく、企画段階から、共に知恵をしぼり、汗を流す「仲間」です。「ふるさと東荷の絆は世界一」をスローガンに、毎年、地域の力を結集した大運動会を行っています。

光市立光井中学校

幅広い地域人材を確保する取組



地域の達人の技や考え方を学ぶ「光梅講座」を行っており、生徒が各自選択した講座で日本の伝統文化を体験しています。今年は約30名の達人をお招きしました。

光市立浅江中学校

子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組



「あさなえJr.」とは、地域学習や地域貢献活動を通して、自分たちの住む浅江について考えること、そして、中学生にできることを実践しようとする活動です。

光市立室積中学校区

子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組



地域の伝統行事「早長八幡宮秋まつり」に、生徒が様々な形で参加しています。地域の方の熱い思いに直に触れることにより、結びつきを強め、地域の担い手である自覚を深めています。

光市立島田中学校区

子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組



島田川協育ネットでは、4小1中の代表児童・生徒が、地域や学校によさと課題について自分事として意見交換する「島田川っ子サミット」を年2回開催し、できることから行動にうつしています。

光市立大和中学校区

子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組



大和地区の教職員、保護者、地域の方々で、小中一貫教育に向けての具体的な取り組みについて熟議が行われ、同じ会場で小中高生も自分たちで大和地域の課題をもとに話し合いを行いました。